

エチオピア月報(2016年4月)

主な出来事

【内政】

- 14日:ガンベラ州で、南スーダンのムルレ族がエチオピア人 208 名を殺害、102 名の児童を誘拐。
- 21日:ガンベラ州で、南スーダン難民がエチオピア人 10 名超を殺害。

【外政】

- 14-15日:アディスアベバにて、ミュンヘン安全保障会議コア・グループ・ミーティング開催。
- 16-17日:バハルダールで、第5回タナ・アフリカ安全保障ハイレベル・フォーラム開催。
- 25日:ハイレマリアム首相は、ハッサン・ソマリア大統領と会談、ソマリア情勢、テロとの戦いにつき協議。

【経済】

- 8日:欧州議会は、早魃対策としてエチオピアに1億2250万ユーロ拠出することを発表。
- (日時不明)IMF、早魃の影響により、エチオピアの今年度経済成長率を4.5%にとどまると発表。それに対し、アーメド財務経済協力省国務大臣は、過去12年間と同様の成長が見込まれる旨発表。

【内政】

- 14日、ガンベラ州で、南スーダンのムルレ族が 208 名のエチオピア人を殺害、102 名の児童を誘拐した。(18日、EBC、The Ethiopian Herald)
- 21日、ガンベラ州で、南スーダン難民が10人以上のエチオピア人を殺害。難民の児童2名が交通事故で死亡したことの報復と見られる。(24日、EBC、VOA、Horn Affairs)

【外政】

- 3月31日-4月6日、エチオピア政府は、UNECA、アフリカ連合と共に African Development Week を開催した。(1日、外務省)
- 4日、テドロス外相は、ムシキワボ・ルワンダ外相と二国間関係及び地域情勢につき会談した。(4日、外務省)
- 5日、ハイレマリアム首相は、アルジェリアのメサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣の表敬を受け、本年の在アルジェリア・エチオピア大使館設置を含む二国間協力につき議論した。(5日、外務省)
- 6日、タイエ外務省国務大臣は、Adan Muse Jibril ソマリランド代表とアル・シャバーブ対策、ベルベラ港での協力等につき協議した。(6日、外務省)

- 7日、テドロス外相は、モゲリーニ EU 上級代表と地域情勢及び移民問題につき協議した。(7日、外務省、EBC)
- 11日、テドロス外相は、スナイディ・オマーン商工相兼計画最高評議会副議長と会談した。(11日、外務省)
- 12日、テドロス外相は、シーヤールトー・ハンガリー外務貿易大臣と会談した。(12日、外務省; 13日、The Ethiopian Herald)
- 14日、テドロス外相は、Philip Ruddock 人権担当特使一行の表敬を受けた。(14日、外務省)
- 14-15日、アディスアベバにて、ミュンヘン安全保障会議コア・グループ・ミーティングが開催された。(14日、外務省)
- 15日、テドロス外相は、アワレ・ジブチ農業相と会談した。(15日、外務省)
- 16-17日、バハルダールで、第5回タナ・アフリカ安全保障ハイレベル・フォーラムが開催され、ハイレマリアム首相他政府高官も出席した。(17日、外務省; 19日、The Ethiopian Herald)
- 25日、ハイレマリアム首相は、ハッサン・ソマリア大統領と会談し、ソマリア情勢、テロとの戦いにつき協議した。(26日、EBC)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明)エチオピア統計局は3月のインフレ率を7.5%と発表した。食糧インフレ率は2月の9.2%から7.3%へ、非食糧インフレ率は8.5%から7.8%に減少した。(5日、The Daily Monitor)
- (日時不明)IMF は、早魃の影響により、エチオピアの今年度経済成長率を4.5%にとどまると発表した。(15-17日、The Daily Monitor)
- (日時不明)アーメド財務経済協力省国務大臣は、IMF の今年度経済成長予測に対し、エチオピアは過去12年間の順調な経済成長と同様の成長が見込まれる旨発表した。(15-17日、The Daily Monitor)
- (日時不明)エチオピア歳入関税庁は、過去9ヶ月間の税収が940億ブルに上り、昨年同時期の税収を11%上回ったと発表した。
- (日時不明)フィッチ・レーティングスは、早魃による農業生産量の落ち込みがあるものの、コーヒーをはじめとする伝統輸出部門の安定と公共投資による経済成長によって経済が安定しているとして、エチオピアをランクBとした。(13日、The Daily Monitor)
- (日時不明)スタンダード&プアーズは、エチオピアの短期外貨ソブリン債及び現地通貨ソブリン債のランクをB/Bとした。(25日、The Daily Monitor)

2. 貿易・投資・ビジネス

- (日時不明)ダンゴテ・セメントは、エチオピア国内に6億ドルの投資を行い、新たにセメント工場を建設する旨発表した。(2日、The Reporter)

- (日時不明)エチオピア議会は、エチオピア開発銀行払込資本増強のための特別保証の発行を認める法律を可決。この可決により、同行の払込資本は30億ブルから75億ブルに増加する見込み。(6日、The Daily Monitor)
- 5日、エチオピア下院は、投資家向けに政治危機及び貿易信用危機時の保険サービスの提供を目的としたアフリカ貿易保証会社設立に係る法律を承認した。(6日、The Ethiopian Herald)
- 11日、KEFI ミネラルは、エチオピアに対し、同社が手がける採金事業への投資を期待している旨述べた。(12日、The Daily Monitor)
- (日時不明)エチオピア投資委員会及び歳入関税庁は、世銀発表が発表した最新の Doing Business 報告書にて、エチオピアのビジネス環境が、調査対象国189ヶ国中、146位、サブサハラアフリカ48ヶ国中20位となり、環境改善が見られると発表した。(12日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明)エチオピア開発銀行は、中規模企業の製造機械購入促進のために、3000万ブルの融資を行う旨発表した。(15日、The Ethiopian Herald)

3. エネルギー

- 3月29日、エチオピア電力公社はラーセン・ターボ社との間でアディスアベバ市内における変電所改築工事に合意した。契約金額は5840万ドルに上る。(3日、Capital)
- (日時不明)エチオピア電力サービス社は過去8ヶ月間の電力輸出による外貨収入が1億2300万ドルに上ったと発表した。(15-17日、The Daily Monitor)
- (日時不明)中国電力公社は廃棄物を活用した25メガワットの発電施設をアディスアベバ市内に建設すると発表した。(20日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明)エチオピア電力公社は中国 TBEA 社とアカキ、キリント、ボレ・レミ工業団地における変電所及び送電網整備プロジェクトの実施に合意した。プロジェクト費用は8200万ドルにのぼる。(28日、The Ethiopian Herald)

4. 工業・運輸

- (日時不明)中国ジャングス・サンシャイングループは、3億5900万ドルを投じ、アダマ地域に繊維工場を建設する旨発表した。(12日、The Daily Monitor)

5. 各国動向

(EU)

- 8日、欧州議会は、早魃対策としてエチオピアに1億2250万ユーロ拠出することを発表した。(8日、外務省)

(中国)

- (日時不明)アード財務経済協力国務大臣は、エチオピアを中国・アフリカ協力のモデル国とし、インフラ開発を中心に中国との協力関係を強化したい旨発表した。(8日、The Daily Monitor)
- (日時不明)エチオピア中国商工会議所は、エチオピアに於ける人材育成強化のためアディスアベバ科学技術大学とのパートナーシップを構築した。同パートナーシップの下、中国は、毎年50万ブルの拠出を行い、海外留学やインターンシップを提供する予定。(11日、The Daily Monitor)
- (日時不明)中国ZIE社は、エチオピアに5000万ドルの投資を行い、国内36大学をつなぐ通信機器を導入したと発表した。(18日、The Daily Monitor)

(独)

- 22日、独はエチオピア国内の旱魃被害者及び難民のために約1350万ユーロの拠出を決めた。(22日、EBC、ENA)

(ロシア)

- (日時不明)ラブロフ露外務大臣は、テドロス外務大臣と会談を行い、エチオピアに対する貿易と投資を加速させることで合意したと発表した。(26日、The Daily Monitor)

6. 旱魃被害

- (日時不明)WFPは、エチオピア政府発表の旱魃被災者1000万人のうち、およそ3割程度にしか援助が届いておらず、更なる支援が必要である旨発表した。(3日、Capital)
- (日時不明)エチオピア政府国家災害危機管理委員会は、旱魃被害実態調査を行い、ホットスポットが219地域確認されたと発表。このうち、186の地域で緊急人道支援が必要であるとした。(17日、Fortune)